

## HSBC中国人民元債券 オープン(年2回決算型)

追加型投信／海外／債券

### 償還交付運用報告書

第9期(償還日2023年11月14日)

作成対象期間  
(2023年5月23日～2023年11月14日)

第9期末(2023年11月14日)	
償還価額	13,209円62銭
純資産総額	67百万円
第9期	
騰落率	3.6%
分配金(税込み)合計	－円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。  
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC中国人民元債券オープン(年2回決算型)」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、主として、米ドル建ての香港籍投資信託への投資を通じて、主に中華人民共和国(「中国」)の債券等に投資することにより、安定した収益の確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

### HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号：03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

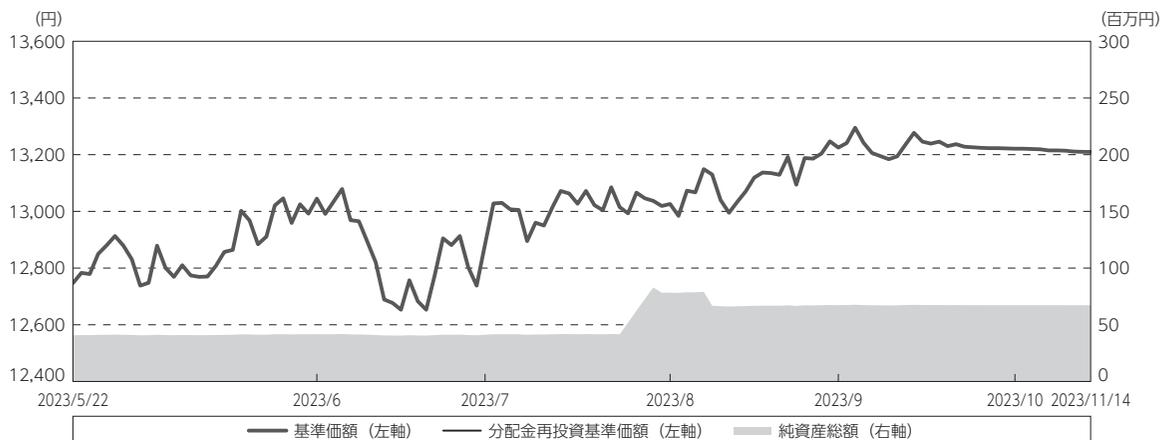
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第9期：2023年5月23日～2023年11月14日)



期 首：12,747円

期末(償還日)：13,209円62銭 (既払分配金(税込み)：1円)

騰 落 率： 3.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年5月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また人民元が対円で上昇したことが基準価額にプラスに働きました。

<下落要因>

組入銘柄の価格下落(利回り上昇)が基準価額にマイナスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	51	0.391	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 8 )	(0.058)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(41)	(0.317)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0 )	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	25	0.189	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(12)	(0.095)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
( 監 査 費 用 )	( 4 )	(0.030)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
( そ の 他 )	( 9 )	(0.064)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	76	0.580	
期中の平均基準価額は、13,038円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

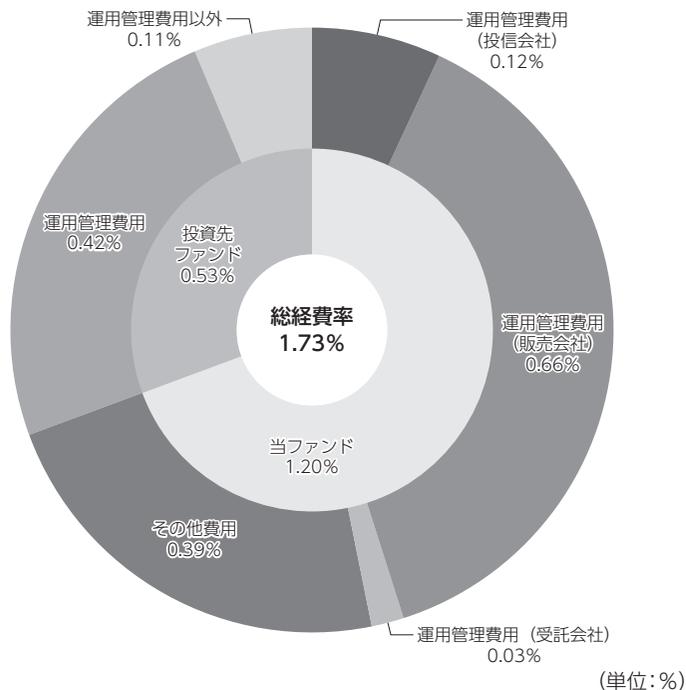
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 委託者は、2023年5月1日から2023年10月31日までの期間に、管理会社より405.50米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率(①+②+③)	1.73
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

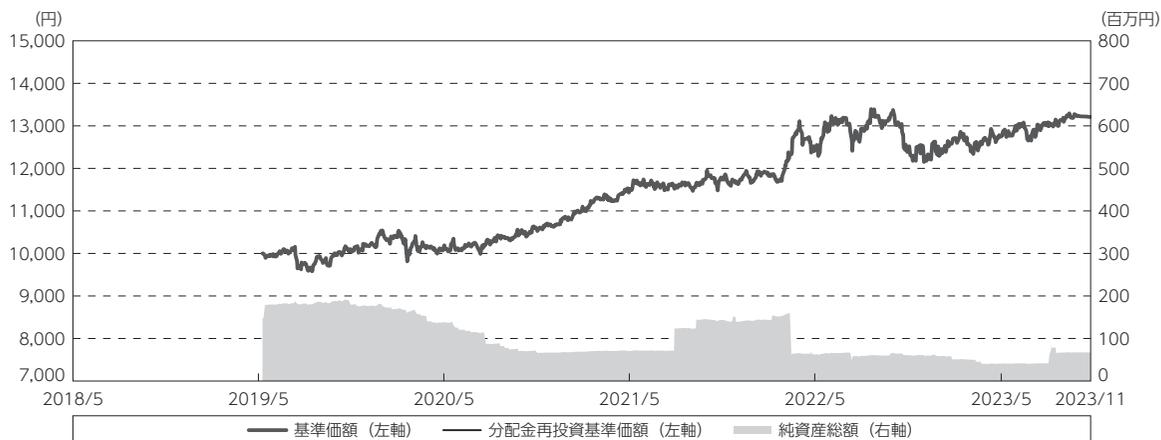
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「H S B C」を含まない投資先ファンドの運用管理費用以外の費用については、②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2018年5月21日～2023年11月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2019年5月30日です。

	2019年5月30日 設定日	2020年5月20日 決算日	2021年5月20日 決算日	2022年5月20日 決算日	2023年5月22日 決算日	2023年11月14日 償還日
基準価額 (円)	10,000	10,166	11,518	12,454	12,747	13,209.62
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.7	13.3	8.1	2.4	3.6
純資産総額 (百万円)	147	138	71	62	40	67

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年5月20日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 投資環境について

### 【債券・為替市況】

当期の中国人民元債券市場は、中国本土のオンショア人民元債券指数、中国本土外のオフショア人民元債券指数ともに当期を通じて小幅に上昇しました。オンショア人民元債券指数は期初から2023年8月下旬にかけて、オフショア人民元債券指数は期初から2023年8月中旬にかけて、ともに中国人民銀行による金融緩和政策を背景に上昇傾向となったのち、期末にかけては一進一退を見せながら一定範囲内で推移しました。

当期の人民元は円に対して前期末比で上昇しました。人民元の対円相場は期初から2023年7月上旬までは上下に振れながらも一定範囲内で推移したのち、中国景気の先行き懸念が強まり、7月中旬にかけて下落しました。その後、政府の景気刺激策や円安進行などを背景に期末にかけては途中上下動を見せながらも上昇基調に転じました。

## ポートフォリオについて

### <HSBC中国人民元債券オープン(年2回決算型)>

主として「中国人民元債券ファンド」への投資を通じて、主に中国の政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券等に投資しました。

### <中国人民元債券ファンド>

オンショア人民元債、オフショア人民元債を中心に投資しました。期中の組入比率は、オンショア人民元債が36~44%、オフショア人民元債が57~64%でした。組入債券の平均デュレーションは4.2年~4.6年としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ◆お知らせ◆

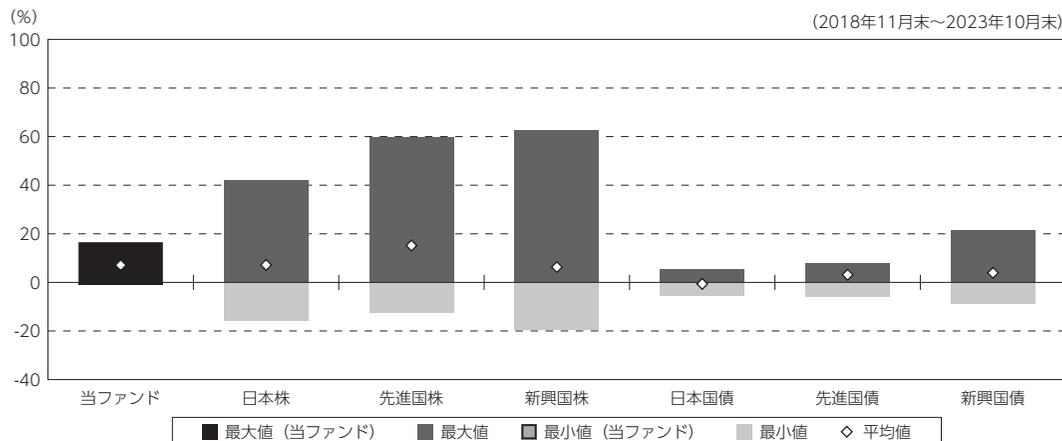
当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還条項に定める口数を下回っており、運用を継続するよりも繰上償還することが受益者の皆さまの利益に資すると判断し、投資信託約款の規定に基づき、2023年11月14日をもって信託を終了いたしました。

受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

## ◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2019年5月30日～2023年11月14日（当初2019年5月18日）
運用方針	中国の債券等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	米ドル建ての香港籍投資信託「H S B C コレクティブ・インベストメント・トラストーH S B C オール・チャイナ・ボンド・ファンド」(「中国人民元債券ファンド」)に投資します。また、ETFにも投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に中国の政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券等に投資します。現地通貨建以外の債券にも投資を行う場合があります。</li> <li>－米国の短期債券等を投資対象とするETF(上場投資信託)にも投資します。当該ETFの組入れは低位とします。</li> <li>・主要投資対象ファンドを中心に、中国の債券等を投資対象とする投資信託証券の投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。</li> <li>・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
分配方針	<p>年2回の決算時（毎年5月、11月の各20日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</li> <li>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ol>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	16.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 1.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	7.1	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年5月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## ◆当ファンドのデータ◆

(2023年11月14日現在)

## 当ファンドの組入資産の内容

2023年11月14日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○純資産等

項 目	第9期末(償還日)
	2023年11月14日
純 資 産 総 額	67,215,502円
受 益 権 総 口 数	50,883,746口
1万口当たり償還価額	13,209円62銭

(注) 期中における追加設定元本額は31,625,617円、同解約元本額は12,725,866円です。

## ◆指数に関して◆

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。